

若年層の人口増対策を

市営住宅の建設・家賃補助・引っ越し費用支援策を

井之川博幸議員は、本市では40歳以下の若年世代が20年前比で69%まで減少し、今後も減少し続けることを確認し、若年層の減少に歯止めをかける対策として、若年層世帯むけに「市営住宅の建設・家賃補助・引っ越し費用支援」策などの実施を求めました。



井之川博幸市議

市長は、「研究してまいりたい」などとまともな答弁をしませんでした。

徹底した子育て支援を

井之川議員は、若年層にとって魅力ある沼田市にするためには、各種保育料の完全無料化及び給食費の無料化の実施を求めました。

市長は、「現下の財政状況では、困難」と答弁しました。

井之川議員は、このままでは若者が減り、人口が減り、いっそうダメな沼田市になってしまうことを示し、一部市民のための「街中再開発」には多額の税金を投入していることなどをあげ、行政がやるべきことは、多くの市民を対象にした「福祉の充実」を優先すべきと主張しました。

国保税は所得割中心の課税割合で

先号に引き続き、国保税の問題では、所得に関係なく課税される「均等割・平等割」（応益割）の引き下げ及び税金の2重取りといわれている「資産割」を引き下げ、「所得割」中心の課税割合にするよう要求しました。

市長は、「国の政令改正で、応益割合の条件が撤廃されたので、改正内容を踏まえて対応していく」と前向きな答弁がありました。

また、井之川議員は、国保税の滞納金が回収されず不納欠損金として↑

「花咲きクラブ」花いっぱい運動で花植え！



環状線市営住宅前で花植する町民のみなさん

高橋場町「花咲きクラブ」は、16日、町内の公民館前・環状線市営住宅前・消防署東側市道田んぼ沿いの3カ所で早朝から「花いっぱい推進運動」における花植活動を行ない、町内の各種団体に所属する町民のみなさんが参加しました。

沼中の改築は2年で約12億円

沼中の新築校舎は地場産の木材を使用し、木造平屋建てで建設されます。工事は、1期2期に分けて行い、工事自体も分割・分離発注で行います。

1期本体工事も分割で、萬屋建設と沼田土建が半分ずつ、それぞれ2億円強で落札しました。落札率は、ともに約98%でした。電気設備は利根電気工事、衛生設備は反町工業、空調設備は美山電業の各社です。他に既存校舎の改修建築は鞍城建設、電気設備は須田電気、機械設備は稔和、南校舎の解体は戸部組となっています。



改築される南校舎と北校舎

不納欠損分は国保税に上乗せするな

✓処理されている金額がこの10年で約4億円に達していることを示し、その分がまじめに納めている人の国保税に上乗せされていることを明らかにし、市長にも認めさせました。この分だけでもただちに行政の責任で補填し、国保税を引き下げるよう要求しました。